



千発第 315 号
平成23年7月12日

国土交通省関東地方整備局長 様

群馬県 千代田町長 大谷 直之



八ツ場ダム建設事業の検証に係る検討における
「概略検討による利水対策案について(案)」に対する意見聴取(回答)について

標記の件について、別添様式一1のとおり回答いたしますので、よろしくお願ひいたします。

記

- 1、提出書類 様式一1 八ツ場ダム「概略検討による利水対策案について(案)」に対する意見・・・1部



担当

〒370-0598

群馬県邑楽郡千代田町大字赤岩 1895-1

TEL 0276-86-7003 (直)

FAX 0276-86-4361

ハッ場ダム「概略検討による利水対策案について(案)」に対する御意見

① 団体名	千代田町	
② 担当者名	[REDACTED]	
③ 連絡先(TEL)	0276-86-7003 (直)	
④ 御意見	対策案番号	御意見
(1) 利水対策案について (御意見を記入する際は、御意見の対象の対策案番号①～⑤を付記下さるようお願いいたします。	③、④	<p>利根大堰上流は、群馬県、埼玉県、海無し県としては、年間を通じてマリンスポーツ等を楽しめる数少ない、広大な水面であることから、水面利用が盛んな場所である。また、高水敷にはサッカー場をはじめグライダー滑空場、ゴルフ場、運動場など河川敷利用及び上空利用と立体的な利用がなされている区域である。平成17年度に「水辺プラザ事業」の登録となり、平成21年度から「かわまちづくり事業」に移行となり国土交通省、熊谷市、千代田町が一体となり水辺空間の整備を行っているところである。</p> <p>水面利用としては、利根大堰上流水面等利用者協議会(24団体)が平成22年11月に設立され、安全で快適に利用できるよう「利根大堰水面利用ルール&マナー」が平成23年1月に策定され記者発表を行ったところである。また、この地域にただ一つ残された歴史ある利根川の風物詩「赤岩渡船」が人々に愛され現在も運航されており、河川利用の実態から高水敷の掘削やかさ上げは受け入れることはできない。</p> <p>さらには、利根大堰周辺が穀倉地帯であることから、利根大堰の高水敷の掘削及びかさ上げで水位が上昇することによって地下水位や支川水位が上昇し、沿川耕地の湿田化などの懸念がある。</p> <p>そもそも、利根川のような大河川において、河川を堰止める利根大堰(ダム)をさらに高水敷の掘削及びかさ上げするという事は、水位の上昇により年間を通じて台風時のような光景を人工的に作りだし、地域住民の不安感を増すだけでなく、堤防そのものを浸透水によって弱体化し、洪水時には破堤の危険性が増加するため、地域の安全・安心の観点からも受け入れられない。</p> <p>とても実現可能な案とは考えられない。</p>